

会議結果報告書

令和7年8月26日

会議の名称	第1回舞鶴市特別職報酬等審議会	
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 附属機関 <input type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和7年7月31日(木) 午後2時00分～3時00分	
開催場所	舞鶴市役所 別館6階 大会議室	
出席者	舞鶴市特別職報酬等審議会委員7名、 鴨田秋津市長、 事務局6名(竹山部長、山本課長、末永主幹、柳橋厚生・研修係長、郷田給与係長、永野主査)	
議題	(1) 委員の委嘱 (2) 会長の互選 (3) 諮問事項 (4) 資料説明 (5) 審議	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	2 名	
審議結果 及び 主な意見等	・会長に川端隆一氏を、会長代理に福本清氏を選出。 ・市長から、「市長、副市長及び教育長の給料並びに市議会議員の議員報酬の額及びその改定の実施時期」について、審議会へ諮問。 あわせて、行政委員会等の委員及び附属機関の構成員の報酬の額について、意見を聞かせていただくよう依頼。 ・事務局から資料等を説明。	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市総務部人事課 TEL (0773)66-1066	

第1回「舞鶴市特別職報酬等審議会」議事録

1. 会議名 舞鶴市特別職報酬等審議会
2. 開催日時 令和7年7月31日(木)午後2時00分～3時00分
3. 開催場所 舞鶴市役所 大会議室
4. 出席者 (1) 審議会委員
川端隆一会長、福本清会長代理、大川るり子委員、
岸田卓彌委員、小西剛委員、藤澤重子委員、
保田信三委員
(2) 市長及び事務局
鴨田市長(諮問まで)、竹山総務部長、
山本人事課長、末永人事課主幹、
柳橋厚生・研修係長、郷田給与係長、永野主査
5. 内 容 以下のとおり
 - (1) 委嘱状交付
「舞鶴市特別職報酬等審議会条例」(以下「審議会条例」)第3条に基づき、市長が、別紙の7名を、同審議会委員に任命。委嘱状を交付。
 - (2) 会長選出
「審議会条例」第4条に基づき、次のとおり選出。
会 長：川端 隆一 氏
会長代理：福本 清 氏
 - (3) 諮 問
「審議会条例」第2条に基づき、次のとおり、市長から審議会へ諮問。
①市長、副市長、教育長の給料の額、議会の議員の議員報酬の額
②改定の実施時期

あわせて、行政委員会等の委員及び附属機関の構成員の報酬の額についても、意見を聞かせてほしいとした。
 - (4) 審 議
事務局から、配布資料(昭和43年10月17日付け自治省行政局長通知に基づく)について説明の後、審議を行った。

会 長：市長の給料減額の期限はいつまでか。
事務局：令和9年2月17日まで。
附則の内容は、市長が就任された令和5年2月からの給料月額を遡って30%減額するためのもの。

会 長：「基金現在高」は公債費のことか積立金のことか。
事務局：いわゆる地方財政で貯金にあたるどころ。

会 長：実質公債費比率の13.2は、歳入の中に含まれているという認識で良かったか。

事務局：一般財源の中に占める公債費の割合にあたる。

委員D：舞鶴市と比較して木津川市は職員数は少ない。（411人）
舞鶴市の612人は、正職員のみのか、1年限りの職員を加えた人数か。

事務局：612人は正職員の数。612人とは別に会計年度任用職員が500人ほどいる。
他市がどういう考えのもとで組織を構成されてるか不明だが、自治体によって行政課題の違いや、市の面積等も影響するため、単純に比較するというのは難しいところ。

会長：類似団体の議員報酬の比較の資料について、市の面積によって行政の仕事量も変わってくるはず。過去に市町村合併などがあった自治体は職員数も多いと推測するが、実際はどうなのか。次回また聞かせてほしい。

委員C：人口減少が甚だしい。各市の5年後の推計人口がわかれば、検討材料になるかも。

委員D：将来の人口、財政規模の想像だけではなく、人口減少や高齢化を考えて報酬を検討する必要がある。福知山市、綾部市、舞鶴市で高校を卒業して地元を離れてから、戻ってくる割合が舞鶴市は低い。（福知山公立大学の先生の講演より）
類似している団体や合併によって人口を維持している自治体の職員数を知りたい。

委員B：議員の政務活動費は資料に含まれているのか。
事務局：資料の内容は報酬のみの額。政務活動費は含まれていない。

委員F：議員定数の検討をしていると聞いている。
どれだけ減る方向なのか、参考になると思うので知りたい。
事務局：議員定数については検討中であることは聞いている。詳細は未定。

委員E：資料は月額のみ。年間の収入がどれくらいか知りたい。

委員C：退職金の額も知りたい。

委員A：そもそも、議員の報酬はどのような基準で定められているのか。
事務局：報酬について明確な基準はない。ただ人口、経済状況など他市と比較し、上げるべきか、下げるべきか、現状維持か総合的に検討いただいている。

会長：今期市長は退職金は無しか。
事務局：今期は退職金無し。

会 長：委員C、Dの発言のとおり、Uターンの数など将来のデータがほしい。

税務署によると、舞鶴市より福知山市の税収の方が3倍多い。事業をしている数にそれだけ違いがあるということ。そういうところも影響しているのかも。

委員C：舞鶴市は公務員の比率が高い。